

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃ ぷろしーど あーつ 株式会社 プロシード・アーツ		
代表者職・氏名	代表取締役 柿花 龍治		
制作団体所在地	〒 531-0071 大阪府大阪市北区中津6丁目5番3号		
電話番号	06-6456-0303	FAX番号	06-6456-0606
ふりがな 公演団体名	かんさいえんげいきょうかい 関西演芸協会		
代表者職・氏名	代表 桂 福団治		
公演団体所在地	〒 531-0071 大阪府大阪市北区中津6丁目5番3号 プロシード・アーツ内関西演芸協会事務局		
制作団体 設立年月	平成4年3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 柿花 龍治	製作スタッフ10名 舞台スタッフ12名	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	柿花 龍治
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	大槻 哲

<p>制作団体沿革</p>	<p>株式会社プロシード・アーツと関西演芸協会との上方文化応援チームが実現！ (誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を目指し30年)</p> <p>プロシード・アーツは、小学校、中学校、子どもたちの為の古典芸能主体の学校公演において全国でトップクラスの公演数を誇る舞台芸術集団です。誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を目指すことをモットーに活動しております。</p> <p>特に創立当初は、小中学生の為の上方落語鑑賞会と音楽鑑賞会の公演普及活動から始まり、その後 先生方や教育関係者の要望に応える為日本の伝統芸能、狂言、能、江戸前寄席、東西寄席、邦楽、スクールコンサートなど、多方面にわたって公演しております。</p> <p>企画も各地域や各学校のニーズに応えるべくプランニングしております。</p> <p>舞台作りにおいても本物の寄席舞台を学校体育館に再現する為に、東西の寄席小屋をリサーチの上、使用マイクも演芸専門のマイク(SONY C-38B)、スピーカー2対(4本)を使用し、プロの音響専門のオペレーターにより寄席専用にチューニングします。古き良き時代の寄席臨場感を再現いたします。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>《文化庁公演実績》古典芸能分野(落語・狂言)において採択 2008年文化庁「本物の舞台芸術体験事業」に採択 2010年文化庁「次代を担う子どもの舞台芸術体験事業」に採択 2021年文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」に採択</p> <p>《学校公演実績》 古典芸能を柱に創業約30年6200校の公演実績。 平成21年312校、平成22年336校、平成23年217校、平成24年320校 平成25年311校、平成26年318校、平成27年398校、平成28年322校 平成29年305校 平成30年302校 令和 元年257校 令和2年47校</p> <p>《落語公演 実施校抜粋》 平成29年大阪市北区学校教育活動支援文化芸術体験事業 採択 日向市立日向中学校、大和市立上和田中学校、稲沢市立平和中学校、広島市立楽々園小学校 学習院女子中・高等科、名古屋市立宮中学校、大阪市立茨田北中学校、豊橋市立東部中学校 横浜市立緑園西小学校、鹿屋市立寿小学校、市原市立千種中学校、大山崎町立大山崎小学校 松原市立恵我小学校、鹿児島県立鹿児島工業高等学校、北九州市立守恒中学校 大阪市立堀江中学校、堺町立堀小学校、庄原市立庄原小学校</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>京都市立 鳴滝養護支援学級 大阪府立 堺 養護学級 中央図書館 わんぱく文庫 大阪市北区文化芸術による子供の育成事業 堀川小学校 聴覚支援学級</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p> <p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 関西演芸協会】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	関西演芸協会による上方演芸会			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>・一番太鼓でお出迎えと上方の寄席囃子でお出迎え (子どもたちによる寄席の開場をつける一番太鼓の演奏) ・漫才 上方漫才師による漫才 (本物の漫才実演) ・寄席囃子の紹介と実演 (上方落語の特色 はめもの実演と解説) ・上方落語 上方落語入門編 (古典落語を一席) ・大喜利 ～アイウエオ作文を創ろう～ (ワークショップ) ・中入り (休憩) ・あなたも今日から漫才師 (創作漫才発表) (ワークショップ) ・色物 日本手品、太神楽、等々…上方芸能を主体にした寄席の色物 ・はめもの落語 (効果音として寄席囃子は入ります)</p> <p>おしゃべり漫才から始まり、珍しいはめもの落語で終わる。上方演芸の粋を一同に楽しめるプログラムです。(別添に補足写真あり)</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p>①漫才 上方演芸の特長とも言えるおしゃべり漫才。会場の子どもの気持ちを揃い上げるような楽しい漫才で始まります。</p> <p>②上方寄席囃子 上方落語特有の三味線、大太鼓、締太鼓、笛、銅鑼、鉦、拍子木、等、特徴ある上方の寄席囃子をご紹介します。</p> <p>③上方古典落語 先ずは一席。一人の落語家が複数の登場人物を演じわけ、さまざまな情景を表現する落語の世界をご覧ください。</p> <p>④色物 太神楽や日本手品 など。子どもたちが最後まで退屈せずに鑑賞できるよう動きの有る色物を加えました。</p> <p>⑤はめもの落語 上方落語特有の賑やかな《はめもの落語》に出会って頂きます。はめもの落語とは、落語を演じる落語家の語り口に合わせる、囃子方が効果音を演奏し情景描写する事です。演劇的手法と臨場感あふれるステージに、子どもたちは自然と落語の世界へ誘われて行きます。賑やかで華やかな、上方落語の真骨頂です。</p> <p>※演目例; 鰻頭怖い (まんじゅうこわい) どんな人にも嫌いな物・苦手な物はあります。若者たちが集まって 自分の好きな物と嫌いな物を教え合う所から、この囃は始まります。随所にお囃子が入り、物語を賑やかに盛り上げます。</p>			
演目選択理由	<p>◆ 難しい説明や指導よりも、実際に体験してみる出会いのステージ ～誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を紹介～</p> <p>TVなどでは、関西弁を聞く機会は多くても、上質で品格ある上方文化に出会う機会はあまり多くありません。関西に馴染みの少ない地域で初めて上方寄席に出会う子供たちの為に、特性を生かした演目「漫才」「はめもの落語」「上方の寄席囃子」「本格的な寄席舞台」の実演を提案します。実際に見て、触れて、体験してみる出会いのステージは子供たちの興味や好奇心を引き出し、創作意欲を掻き立てることでしょう。関西演芸協会の全面的な支援を受け、厳選された出演者による本物の上方演芸をご覧ください。</p> <p>全国でトップクラスの実績と経験を誇る舞台芸術創造団体ならではの企画をプロシード・アーツが提案いたします。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>①寄席の名前を考えよう 学校に寄席を呼ぼう！というテーマで、「□□□□寄席」と言うように寄席の名前を考えて下さい。</p> <p>②一番太鼓 寄席の開演を告げる一番太鼓を子ども達に力一杯叩いて頂きます。</p> <p>③お茶子修行 高座の座布団の返し、名びら(めぐり)の返し、見台 膝隠しの上げ下げなどお茶子として参加します。</p> <p>④あなたも今日から漫才師 ショートストーリーを2人考え、2人で稽古(ネタあわせ)し、発表します。2人のコンビ名も考えて下さい。</p> <p>⑤大喜利 ～ アイウエオ作文に挑戦 ～言葉からイメージを膨らませる リレー方式の言葉遊びです。みんなで決めた寄席の名前の頭文字を取って、ひとりひとりが短文を創り一つのお話を作るという創作体験です。起承転結を考え、みんなで連携しながら、一つのお話を創り上げてゆきましょう。</p>			
出演者	<p>①上方お囃子連 三味線: はやしや絹代 → はやしや律子 → 岡野 鏡 太鼓: 月亭 遊馬 → 月亭 秀都 → 笑福亭 智丸 → 桂 枝之進</p> <p>②色物 和妻・曲独楽・マジック ・豊来家 一輝(太神楽) → ラッキー 舞(太神楽) → 松旭斎天蝶(日本手品) → 豊来家 大治郎(太神楽)</p> <p>③漫才 ・シンデレラ・エクスプレス → 幸助・福助 → 若井りき・ゆうき → トライアングル 他 芸歴20年以上の漫才コンビ</p> <p>④落語・解説 ・桂 福丸 → 桂 治門 → 桂 小梅 → 林家 染八 等 芸歴7年～15年以上の落語家</p> <p>⑤はめもの落語 ・桂 福団治 → 桂 梅団治 → 林家 小染 → 桂 枝三郎 等 芸歴36年以上の落語家</p>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 7 名 スタッフ: 4 名 合計: 11 名	機材等 運搬方法	積載量: 2 t 車長: 6 m 台数: 2 台	

【公演団体名 関西演芸協会】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間			2 時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時00分～12時	13時30分～15時10分	10分	15時～17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		参加人数:5名～ (高学年の参加が望ましい) 実演体験 一番太鼓:5～20名 お茶子さん体験:5～10名 漫才体験:2～6名 大喜利～アイウエオ作文～:10～15名			
	本公演		参加人数:本公演は全校児童・生徒対象に鑑賞頂きます。 実演体験者はプログラムの中で出演者と共演します。 実演体験 一番太鼓:5～20名 お茶子さん体験:5～10名 漫才体験:2～6名 大喜利～アイウエオ作文～:10～15名			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>前半 40分 : 上方演芸のお話。自分たちの寄席の名前を考えよう。一番太鼓の実演。漫才のデモンストレーション。 後半 40分 : 実演者としてお稽古 一番太鼓 入場のタイミングで打つ一番太鼓を落語家が指導します。 お茶子さん 名札や座布団を返したり 見台の設置などお茶子さんの仕事をスタッフが指導します。 創作漫才 漫才師の指導で日常生活風景を切り取り、2人の対話で表現する漫才を創作します。</p> <p>大喜利～アイウエオ作文～ 5つの文字を盛り込んだ短文を創作します。同じ文字を使った短文もオチのある短文。美しい短文など変化をつけた創作も楽しいです。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>古典芸能を伝承する者たちの修行風景に触れることで、近世から現代に至るまで受け継がれてきた寄席の奥の深さや普遍的な面白さに触れる事が出来ます。また 児童 生徒自身が、実演し、体験し、参加することで、寄席に対する理解が深まり、本公演への理解と興味付けが出来ます。</p> <p>◆あなたも漫才師 アイウエオ作文では『起承転結のあるショートストーリーを組み立てる』『創作の楽しさを体験する』『コミュニケーションと連携の大切さ』を体験。</p> <p>◆お茶子さん体験 一番太鼓を叩こう では『寄席には伝承のしきたりがある』『自分も伝承者としての役割を担う』『コミュニケーションと連携の大切さ』を体験します。ワークショップで事前指導を受けた子供たちに、伝承者としての自信と誇りを持って頂き、日本文化へ興味を持ち続けて頂くことを意図しています。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>原則的にどのワークショップにもご参加いただけます。 お腹からおおきな声を出す。(発声方法)・早口言葉の体験・扇子・手ぬぐいの使い方、等々 まず 体感から理解を深めます。出来る範囲で落語家修業にもチャレンジしていただく為、指導者・スタッフも全力でサポートいたします。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	関西演芸協会	】
<p>項目内容 本公演演目</p>	<p>【全体の流れ】</p>			
	<p>プログラムの内容を写真で説明しています。 ①一番太鼓でお出迎え →②漫才 →③寄席お囃子教室 →④アイウエオ作文(WS) → ⑤漫才体験(WS) →⑥色物 →⑦はめもの落語</p>			

関西演芸協会とは

関西演芸協会は設立65周年を迎えた所属芸人約260名の団体です。所属芸人の落語・漫才・諸芸を披露する寄席を開催することで上方演芸の伝統を後世に伝えていく活動をしています。

寄席の楽しみ

寄席とは、落語・講談・漫才・浪曲・太神楽など、おもしろいお話を聞かせてくれたり、あっと驚く難しい技などを見せられるところudur。大阪や東京にはそんな演芸を一日中、何十人も人が披露する寄席小屋という場所があります。関西演芸協会のメンバーも、普段は関西のそういった寄席を中心に様々な場所で活躍しています。寄席ではいろんな演芸を楽しめますが、やはり最も代表的なのが落語です。

落語には大きく分けて、東京を起点とする「江戸落語」と大阪を起点とする「上方落語」があります。言葉も《江戸弁》と《大阪弁》に分かれ、それぞれがその発祥から生まれたと思われる特徴を持っています。関西演芸協会の落語家は上方の落語家です。もともと上方落語の発祥は大道芸であったと言われていました。縁日などで、屋外で人を集めて語り聞かせながら物売を売る商人たちと同じく、道を通る人々の注意を引かなければなりません。当然の事ながら上方落語は派手で陽気になっていきます。そのなごりが現在も「見台（小机）」と「小拍子」として残り、話の節目で小拍子を見台に叩きつけて音を出し、注意を引き、話題の転換や場所の移動を表現するのに用いられています。また、動きが派手で着物の裾が乱れるところから「膝隠し」を立てて膝を隠すという習慣も今もお残っています。

『百間は一見に如かず』。今回はそんな落語だけでなく、漫才・太神楽に児童・生徒による参加コーナーを含めた寄席を皆様にご覧頂きます。

お楽しみに！



知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度
文化芸術による子供育成総合事業
一巡回公演事業

関西演芸協会



「文化芸術による子供育成総合事業 一巡回公演事業」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につながることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに笑演指導又は鑑賞指導を行います。また、笑演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



関西演芸協会

よせ かんしやう きやうしつ たのしい 寄席鑑賞教室

落語の舞台はとてもシンプルです。座布団の上の70cm四方の空間が世界の全てです。それでも演者の表現力と観客の想像力が重なれば、それは無限の空間へと広がって行くのです。さらに江戸落語と上方落語、同じ笑いでありながら伝承や発展の違いで、異なる面白さへと発展していった二つの笑いを聞き比べてください。笑いの向こうに文化が見えます。

観客の空気や雰囲気を読み、その場で創りあげていく一回性の芸術、落語。台本はあっても同じ芸は二度と見ることが出来ません。

その日、その時、その場に集った、皆さんのためだけにつくられた寄席芸の神髄をお楽しみください。



よせ ばやし お囃子

江戸時代に上方で発祥したと言われ、寄席で用いられる囃子全般を指します。落語家の登場に鳴らす「出囃子」や、囃子の中の効果音やBGMとして使われる「はめもの」などがあります。主に三味線・笛・太鼓・銅鑼などで構成されています。

はめもの 落語

はめもの落語とは落語を演じる落語家の語り口に合せて、囃子方が効果音を演奏し、情景描写する上方特有の落語です。賑やかで華やかな臨場感溢れる落語をお楽しみください。

いろもの 色物

寄席において、落語と講談以外の演目を指します。むかし寄席のめぐりで落語・講談の演目を黒文字で、それ以外の演目は朱色などの色文字を使って書かれていたことに由来します

漣才(まんざい):平安時代に新年を祝う言言祝の芸能であった「千秋万歳」が笑いを主とする芸能に変化したといわれています。

江戸時代には「万才」として興行化されたと言われています。太神楽(たいかぐら):元は、神仏への奉納として舞われてきた華やかな小道芸として、より演芸性を高め伝承されてきました。華やかな小道芸を使って祝ぐ、日本古来の伝統芸能です。



しゅつ 出 演

上方落語(はめもの) 他
桂 福剛 治 他

上方落語・解説 他
桂 阿か 枝 他

いろもの 色物
漣才(まんざい) 他
シンデレラエキスプレス 他

太神楽(たいかぐら) 舞 他
ラ ツ キ ー

お囃子 他
三味線(しゃみせん) 子 他
はやし や 律

太鼓・銅鑼(たいこ たら) 他
桂 小 梅 他

えん 演 目 ・ 内 容

よせ はやし きやうしつ
「寄席・お囃子教室」
寄席・落語の紹介や三味線・太鼓・笛・ドラ・拍子木など、エピソードを交え、寄席の順番に従って演奏、解説をいたします。

いろもの (色物)
「漫才」(漫才)
上方芸文の特徴とも言えるおしゃべり漫才をお楽しみください。

「上方落語」
桃太郎「平林」「動物園」「初天神」等々...上方落語の入門編とも言える落語を、小学生・中学生に合わせたお話しをいたします。

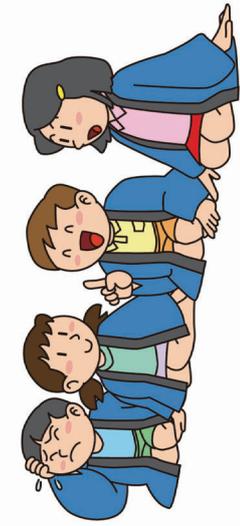
「大喜利 アイウエオ作文発表」(児童・生徒参加コーナー)
ワークシヨップで学び、考えた、アイウエオ作文の児童・生徒の発表コーナーです。

なかい きやうしつ
「仲入り」~休憩~

「あなたも今日から漫才師」
ワークシヨップで学び、考えた、漫才の児童・生徒の発表コーナーです。

いろもの (色物)
「太神楽」(太神楽)
太神楽は日本の伝統芸能です。普段あまり目にする事のない華麗な技の数々をご覧ください。

らくご しちどきつね
「はめもの落語(七度狐)」
一度ひどい目に合さわられたら、その相手を七度続けて化かすという執念深い化け狐「七度狐」に知らないうちに恨みを買ったふたりの旅人のお話です。旅人が狐にどのようになされたのか注目してください。



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F87	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	関西演芸協会			制作団体名	株式会社 プロシード・アーツ				

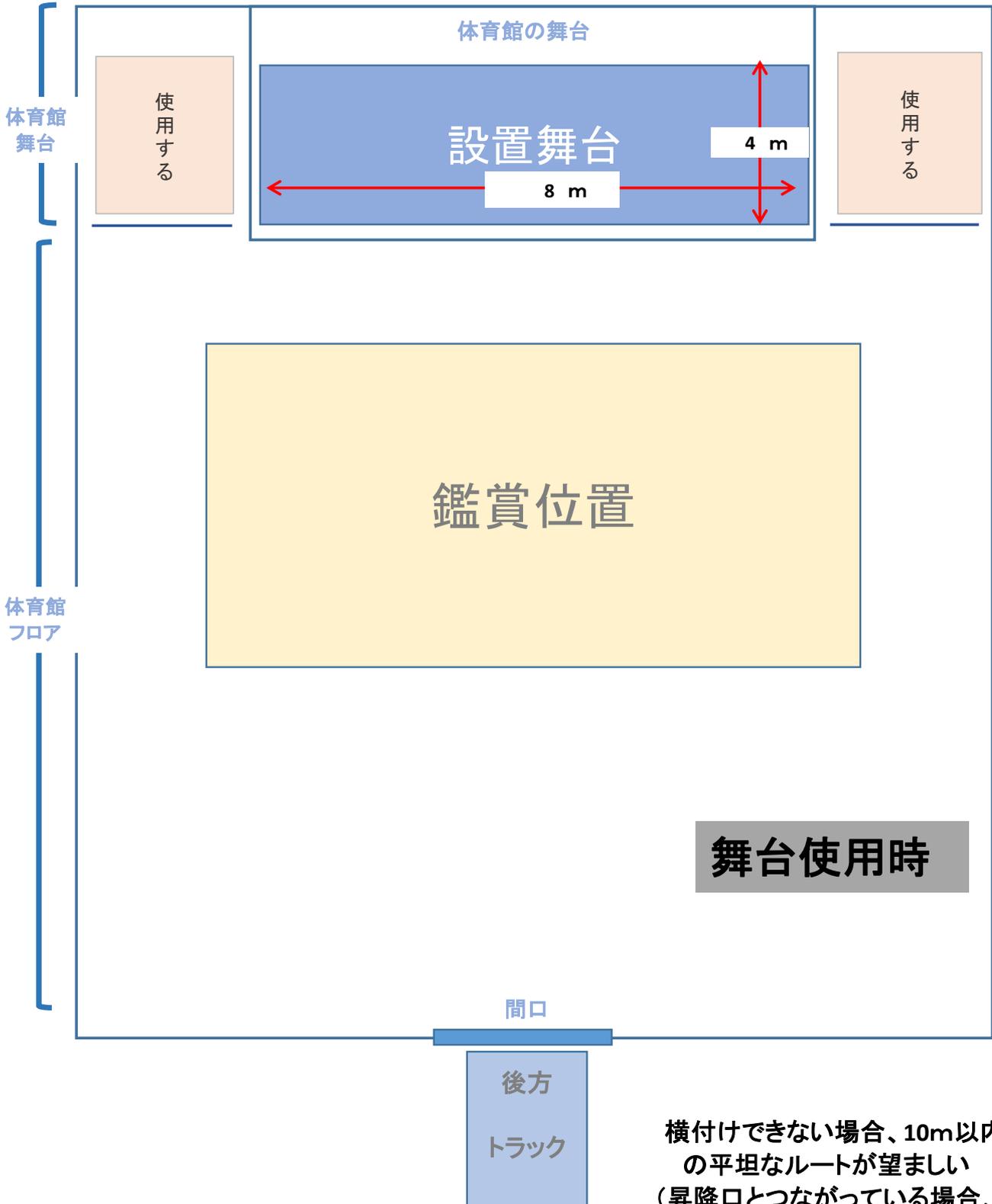
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数*	1室	条件					—	
搬入について	来校する車両の大きさと台数*		バン	1台	小型バス	1台		可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細		学校周辺の道路状況により大型のバンで対応可能						
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		大型バン						可
	搬入車両の横づけの要否*		要						可
	横づけができない場合の搬入可能距離*		10m以内						可
	搬入経路の最低条件		<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り階段のない経路が望ましい ・屋根の有る経路が望ましい 						可
	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・落語舞台大道具の搬入をするため ・雨天で落語小道具・邦楽器が濡れないため(いずれも対応について相談可能です) ・体育館横づけ不可の場合、昇降口から搬入することも可能です。 						
	設置階の制限*		問わないがエレベーターの設置等があれば尚可						可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.8m		可	
WSIについて	参加可能人数		120名程度					可	
	学年の指定の有無*	なし	指定学年*	小学生	中学生		可		
	所要時間の目安 単位:分	90分程度					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		ステージとフロアを使用できる場合600名程度まで					可	
	舞台設置場所*		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		要					可
		舞台袖スペースの条件*		袖に荷物が無い状態					可
		緞帳*	使用出来れば尚可	バトン*	要			可	
	遮光(暗幕等)の要否*		不要	理由				—	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				—
		ピアノの事前調律*		不要					—
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可					—
	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				可	
その他特記事項							応相談		
・フロアを使用する場合 バトンが無い場合 別の方法で対応可能							可		

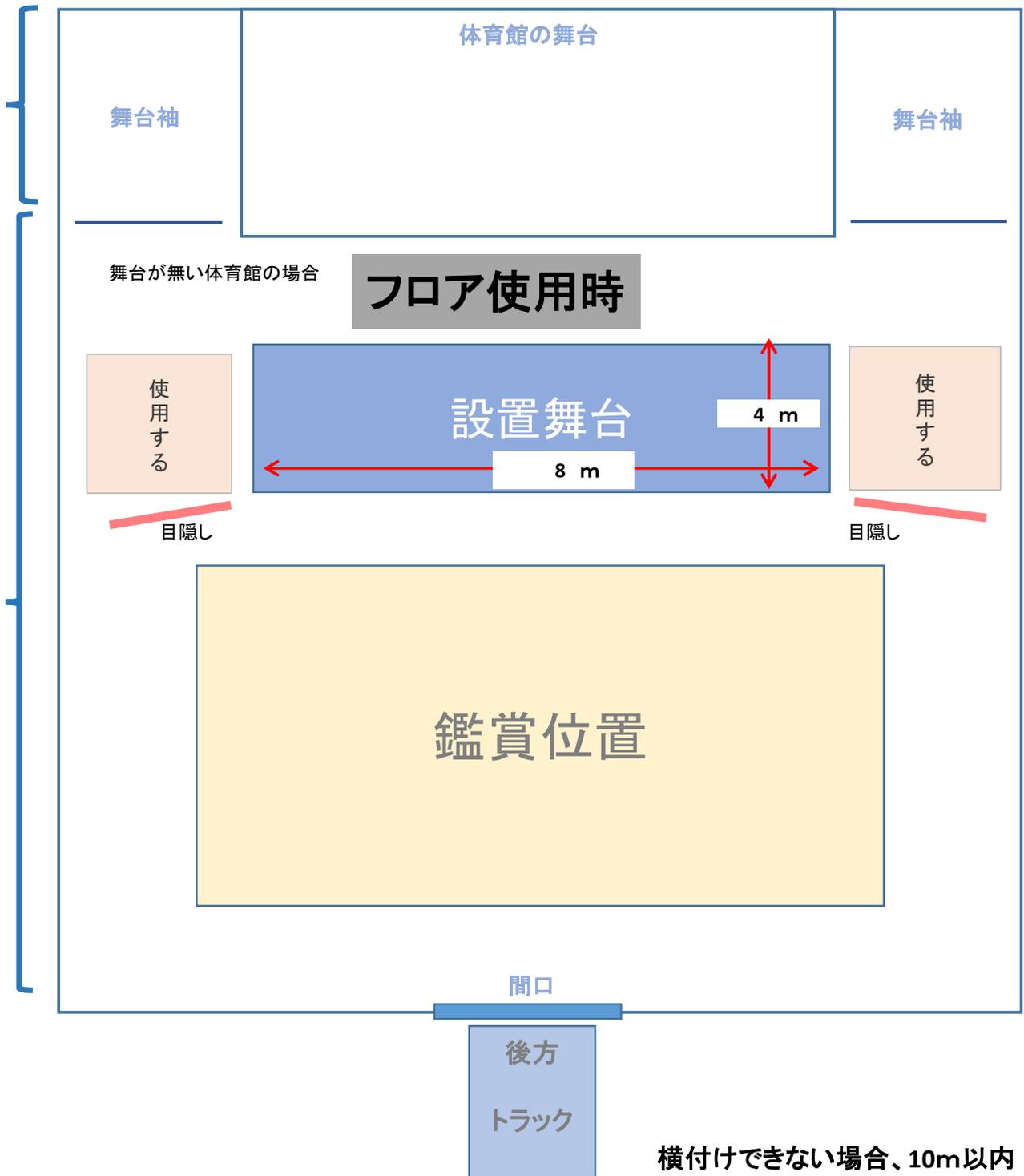
会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



横付けできない場合、10m以内の平坦なルートが望ましい
(昇降口とつながっている場合、昇降口からも搬入可)



横付けできない場合、10m以内の平坦なルートが望ましい
 (昇降口とつながっている場合、昇降口からも搬入可)